

# さくら

□桐朋女子高等学校進路指導部□赤 05□2018. 4. 7

## オリエンテーション

Cブロックに進んだ赤の皆さんに、高2の入口でしっかり理解してほしい進路に関する事柄を、いくつかお伝えし、確認します。高2は学校を動かす事実上トップの学年で、たいへん忙しいです。体育祭、文化祭、関西旅行、と大きな行事が12月まで続きますが、実はその間に一人一人が自らの進路について、着々と準備を積み重ねてほしいことが多くあります。

### 1. 希望する進路を目指して

#### (1)やるべきことは2つ

皆さんは昨年の秋に高2の時間割を考える際、自分の進路を見つめたことと思います。今の時点で進路がはっきりしている人もいれば、まだぼんやりとしている人、全く五里霧中の人、人によって様々でしょう。決まっていなくとも焦ることはありません。進路を考える際、準備すべきことは2点です。自分は何の方面に進むかと、受験勉強です。

#### (2)どの方面に進むか

どの方面に進むかを決める際、考えるポイントは2点あると思います。一つは『①将来の職業』、もう一つは『②(今以上に深く)勉強してみたい学問』です。①は、例えば「看護師になりたい」とか「医師になりたい」のようなものです。これらの場合、おのずから目指すべき道は決まります。「就きたい職業はキャビンアテンダント、でもそのためにはどうしたらいい?」のように、悩む場合もあるでしょう。実際、キャビンアテンダントの場合、出身学部はかなり広いようです。限定されないとすると、②の視点、つまり勉強してみたい(身につけたい)学問という点から進路を探すのもよいと思います。

進路を考える際、心掛けて欲しいことは『幅広く』です。どこかで聞いたことのあるモノには安心感を抱き、聞いたことのないものには何となく不安を感じ警戒する、となるのが人の常かもしれませんが、それでは視野は広がりません。知らないモノだけれど何だろう?という意識で、目を向け、耳を傾けてください。自分の知らなかったことに出会えるかもしれません。それがきっかけで、新たな道が開けるかもしれません。この際『自分には関係ない』は封印して、多くのものを取り入れ選択していきましょう。勉強は、自分の可能性を広げるためにするのです。自らの可能性を初めから狭めて臨むことは、勉強本来の意義から外れていると言わざるを得ません。

困るのは「まだいいや」ときちんと自分と向き合っていることを先送りしてしまうタイプです。何となく進路の問題に向き合うのがイヤで目をそむけている、そうであっても時間は刻々と過ぎてしまいます。すぐに高3になり、ますます焦ることになりかねません。自分一人で考えていて煮詰まってしまうタイプなら、誰かと話題化してみる、相談してみるのも

いいかもしれません。もちろん自分の進路を切り拓いていくのは自分自身しかいませんが、周りの人のアドバイスを上手に利用するのもよい方法です。

### (3)受験勉強

受験のためには「受験勉強」をしなければならないっていうけど、ではいつ頃から始めればいいのか？受験勉強って何をすればいいのか？このような疑問は心のどこかにあると思います。

実は、**毎日の学校の授業や勉強が受験勉強**です。受験勉強は塾でやるもの、ではありません。学校の勉強、その積み重ねが本当の力になります。毎日の学校の勉強をおろそかにして、試験の直前だけ勉強して取り繕う、または取り繕えなかった、その繰り返しの結果、身につけておくべきことが身につけていない。その状態から挽回しようとするから、気がついたときは大変なことになっていて、塾予備校に高いお金を払って慌てることになります。そして、「間に合わない…」という悲しい結果になりかねません。

まずは、毎日の授業を大切にすること。毎日の勉強をおろそかにしていると、そのツケは積もり積もっていきます。月並みな表現ですが地道な努力を長く続けることです。「学校の勉強は受験につながっていないから」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。しっかり予習復習をし、授業はきちんと聴き、疑問点は積極的に質問し、計画的に課題を進める。そういう当たり前のことをきちんとこなしていれば、受験に対応できる基礎体力は養われます。そういったことをせずにいる人こそ、先程の「受験につながっていない」発言をするのです。そのようなことを言う人は、「つなげる能力がなかった」ということを告白しているようなものです。

一方で、学校の勉強だけで受験は乗り切れるのか、という質問には「いいえ」と答えざるを得ません。それなりの準備をしなければなりません。ただし、学校の勉強が不十分な状態で先走っても、消化不良をおこすだけです。「まずは学校の勉強をしっかり」「余力のある人は問題集などで演習を」と考えてください。先を予習するより、勉強してきたことの復習を進める方が効率よく勉強できると思います。

自分で勉強する力を養ってください。力がつくのは、授業を聴いているときではなく、自分で勉強しているときです。自分で勉強する時間をどれだけ持つかポイントです。目標勉強時間は、平日は1日平均 2 時間 30 分です。これには学校や塾で授業を受けている時間は含まれません。予習や復習、宿題をやるなど自分で勉強している時間の合計時間です。そういった時間なら、場所が学校でも塾の自習室でも含める、と捉えて下さい。

**受験の基本科目は、英国数**です。まずはこの3科目をしっかり固めましょう。中でも特に英語。11月にベネッセの記述模試を行います。この試験で**英語**が全国平均を上回ると(GTZのB1レベル以上)、いわゆる『国公立』『GMARCH』『早慶上理』への道が開けると思ってください。なお、これからの時代、英語力は社会を生きていく上での最重要スキルの一つとされています。受験でも英語の検定資格試験を受験科目とみなすトレンド(英語外部検定利用入試)が急速に広まっています。詳しくは「5」を参照のこと。

バランスよく学業と学校生活を両立して過ごした人が、結局はよい成果を勝ち得ています。

## 2. 進路についての資料

本館2階のCブロック職員室の隣に「進路指導室」があります（入口は高3側）。開室時間帯は原則として平日8:30~16:30（水曜~15:30,土曜~13:00）です。この部屋には下記のようないろいろな資料が揃っており、閲覧することができます（①と⑧、⑤⑥の一部は貸し出しも行っています）。進路指導室には、進路指導室付の職員の道下さんがいらっしゃいます。わからないことがあれば、何でも質問してください。

- ①赤本（大学学部ごとに過去数年の入試問題と解答が載っている）
- ②科目ごとの大学入試問題正解
- ③大学・短大の要項、案内等（青や赤のファイルに入っている）
- ④センター試験・大学や短大の過去問（入試センターや大学が提供するもの。黄色のバインダーや緑色のファイルに入っている）
- ⑤大学のシラバスや紹介ビデオ
- ⑥蛍雪時代をはじめ、予備校などがまとめた各種資料、職業紹介の本
- ⑦小論文の書き方、面接試験の実際など
- ⑧大学紹介のDVDやビデオ
- ⑨各大学のオープンキャンパス等の資料やチラシ

また、2階のトイレ横付近に高校2年生向けの進路コーナーがあります。こちらのコーナーに置かれたものは、すべて「ご自由にお持ち下さい」という資料です。

進路指導室、進路コーナーどちらも、ぜひ一度足を運んでみて下さい。この部屋は高3生だけのための部屋ではありません。なお、各教室にも資料を少しずつ設置する予定です。

## 3. 自習室の利用

昨年も案内があったと思いますが、自習室を利用することは少なかったかもしれませんので、再度確認します。毎日放課後（平日15:30~18:00,土曜日12:40~17:00）、**本館211**教室が自習室になります。ただし、平日の17:00以降も残って勉強したい人は各月の初めに「**自習室延長願**」を提出してください。居残る日には自習室に備え付けられた名簿に自分の名前を書き込む形で延長が認められます。昨年も緑の人達がよく利用してくれました。図書館とうまく使い分けていくといいと思います。詳細は別紙を参照のこと（別途ご案内します）。

## 4. 放課後の自学自習支援について

Cブロックでは、英語・数学・国語について、毎週それぞれ一回ずつ、放課後に分からないところの質問を受けてもらえる『スタディアドバイザー』を設けていましたが、二年半やってみて、更に工夫が必要だと判断しました。体育祭明けの6月からを目途に、新たな企画を考えているところです。（改めてご案内します）

## 5. 英語の外部検定資格利用入試について

現在の大学入試は大変多様化しており、さまざまな入試形態があります。私たちは自分にどの方法が一番合っているのか、実力を出せるのかを考えてみななければいけません。最近ではグローバル化の波に乗って『英語力』を求める入試が多く見られます。そのために英語の検定資格試験を是非受けておくことをお勧めします。これまでもよく受験していたと思われる「英検」はもちろん、「TEAP (READING/WRITING/SPEAKING/LISTENING の四技能の試験)」や「TOEIC」, 「TOEFL」など何種類かありますので、興味のある人は調べてみるといいでしょう。学校のある時は、当然、日曜日受験が基本ですのでお願いします。ちなみにTOEFLなどは日曜日受験の予約がかなり先まで埋まってしまうこともあるようなので、受けてみようと思う人は早めに動く必要があります。

## 6. 高3までの進路に関する動き

今後の大まかな流れをお伝えします。

### 【高2】 (概略)

4月 オリエンテーション<進路指導部>

5月 大学説明会 (希望者)

6月 大学模擬講義体験 (希望者)

夏休み 英検対策、N検対策、小論文対策の夏季受験対策講座を実施予定。  
日程があれば、大学のオープンキャンパスなどに行ってみるとよい。

9月1日 実力テスト (スタディーサポート) / 進路意識調査

10月 面談

文化祭後 ※授業の予習復習だけではない、いわゆる受験に向けた準備を始める。

秋 高3の授業内容 (カリキュラム) 説明会

11月8日 外部の実力テスト (進研模試)

高3で選択する授業の決定

- ・高2のときより具体的に進路を絞り込み、大学をはじめとするいろいろな学校のことも調べてみる。ただし受験校を決めるのは高3になってからでよい。
- ・目標は高く。安易に妥協しない。
- ・大学を受験する場合、受験科目としてどの科目を使うかを考える。ただし、絞り込みすぎない (自分の可能性を自ら狭めてしまうようなことはしない)。

12月 (関西旅行後) 進路説明会<進路指導部>・・・「高3ゼロ学期宣言」

2月 **実力テスト (スタディーサポート)、表現サポート**

卒業生による講演会など

3月 面談

※注意 近年、大学入試は実施形態が多様化していて、そのような情報、知識も今後は重要になります。それらはまた追ってお知らせしますが、今の段階では、入口の方法よりも何よりも学校の中身について、しっかりとリサーチすることが重要です。十分に自分

の進路と重ねて吟味した人が、結局、成果を勝ち得ています。

【高3】 (概略) **※みなさん(赤)は平成32年度(2020年度)入試の受験生です!**

**★最後の「センター試験」受験生となります。**

4月 オリエンテーション<進路指導部>

- ・大学進学を考える場合、受験したい大学を考え、どのような入試が行われているのか、どれが自分に向いているのかなどを調べる。

4月 第1回進路希望調査

5月 面談/大学説明会(希望者)

6月 外部の模試(全員)/外部の小論文模試(希望者)  
大学模擬講義体験(希望者)

7月 推薦入試などの説明会<進路指導部>/面談

- ・第一志望校はこの頃までには決まっていること。

8月 AO入試が始まる

9月 センター試験説明会<進路指導部>/外部の模試(全員)  
推薦入試が始まる

10月 センター試験出願

外部の模試(全員)/外部の模試(希望者)

11月 第2回進路希望調査/外部の小論文模試(希望者)  
大学模擬講義体験(希望者)

12月 外部のセンタープレテスト(希望者)  
面談/終講

1月 センター試験本番直前模擬体験(希望者)

センター試験(最後のセンター入試)を皮切りに、入試始まる

高校2年生は、とても忙しい学年です。部活や委員会の中心であり、勉強も難しくなって、課題やレポート、発表も少なくありません。今年は、こういったことを通して「自分を鍛える年」だと思ってください。ここで鍛えられた結果、身についたものは、一生の財産になります。最近の大学入試はこのような力を重視するようになっていきます。大変な一年ですが、頑張ってください。そして、こんなことが知りたいという希望があれば、是非お寄せください。

#### □緑の先輩の進路の状況(4月5日現在)□

|       |      |
|-------|------|
| 在籍人数  | 268名 |
| 4年制大学 | 217名 |
| 短期大学  | 2名   |
| 専門学校等 | 6名   |
| 海外の学校 | 1名   |
| 就職    | 1名   |
| 浪人    | 41名  |

